

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	集落復興小委員会	主 査 名：後藤隆太郎 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：山崎寿一
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>1)被災集落・地域における被害実態・復興過程を記録、2)居住地の復興計画社会的再建のあり方の議論、3)復興計画の支援。</p> <p>初年度：被災集落の調査研究を行い、復興過程について情報共有、現地等において復興過程に関する公開研究会、書籍等を編纂により研究成果を公開する。</p> <p>2年度：建築学会大会時等において研究集会を企画実施する。</p> <p>3年度：被災地域等において調査研究、居住地の復興計画や関する公開研究会等を実施する。</p> <p>4年度：調査研究、および居住地の復興計画、社会的再建等のあり方を議論する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：後藤隆太郎(佐賀大学)</p> <p>幹事：佐藤栄治(宇都宮大学)、三笠友洋(西日本工業大学)、鈴木孝男(宮城大学)</p> <p>委員：月舘敏栄(八戸工業大学)、石山真季(秋田県立大学)、菊池義浩(岩手大学)、沼野夏生(東北工業大学)、大沼正寛(東北工業大学)、重村力(神奈川大学)、澤田雅浩(長岡造形大学)、山崎寿一(神戸大学)、浅井秀子(鳥取大学)、岡田知子(西日本工業大学)、本塚智貴(人と防災未来センター)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/">http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. 研究協議会：震災復興から俯瞰する未来社会と計画学 —農村からの発信 『農村計画部門研究協議会資料：同上』 参加者数 55名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 当初計画のとおり大会研究集会を実施し、被災漁村の生活再建の実情や課題の整理を行った。</p> <p>2. 予定より大きく遅れている『東日本大震災合同調査報告(建築)』における農村計画分野の編纂作業を当小委員会が中心となり行った。</p> <p>3. 『集住の知恵災害文化編(仮題)』のキーワード整理を行った。</p> <p>以上、概ね良好な成果が得られたといえる。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 本年度若手研究者 1 名増員したが、さら組織体制充実が望ましい。</p> <p>2. 会合や議論を活発にすべく、共同研究(研究助成)等による活性化が必要。</p>